この夏も「エコアクティブ塾」開講　～信州環境カレッジの登録講座として実施しました～

その１．川の生き物見っけ隊

８月２日（金）　コムラサキの森にて（安茂里ＪＲ鉄橋下流犀川河川敷）

参加者４３人　講師は会員の清水久美子さん

川の水量は昨年よりも多く、17 組と大勢の参加者を迎えたので、事故のないようにスタッフ一同神経を使い、参加者に自然の豊さを感じてもらえるように取り組みました。又、河川敷に残されたプラスチックごみについても説明し、自分たちの問題として伝えました。

【参加者からのメッセージ】

川の中で遊ぶ事がないので、とてもいい経験になりました。お恥ずかしい限りですが、川＝魚という勝手な私のイメージで、見たことのない生き物を見つけて、大人でも新しい発見でした。自然と触れ合うことはやはり大事ですね。どじょうを見つけることができ下の子も楽しんでいました。先生から今問題になっているプラスチックのゴミについて話があり、実際川に行ってみて落ちているのをみると、深刻な問題として意識する大切さを合わせて学ぶ事もできました。親子共々、夏の貴重な体験になりました。ありがとうございました。

その2. 体験！街も地球もどうして暑い？

８月６日（火）　長野県環境保全協会会議室及び新田町交差点付近

参加者　１２人　講師：会員の西沢和雄さん、長野市温暖化防止活動推進員の堀池政史さん

参加者は、赤外線放射温度計でまず氷・水・お湯の温度を測り、ものの温度を実感。そして、街の中の道路や街路樹、車などいろいろな場所や物の温度を測定しました。映像ソフト「触れる地球」で何故地球が暑くなるのか講師からのお話を聞き、まとめとして調べた温度をワークシートに記入。最後は冷たいスイカで暑くなりすぎた体を美味しく冷やしました。

【参加者振り返りシートより】

・台風の動きやクジラや鳥のうごきが分かった。
・地球の温度を測ってこんなに高いと思いませんでした。
・たくさん木を育ててきれいな町にしたい。
・日に当たっていたのに植物の温度は低いということを知った。

その3. 太陽の熱で美味しいカレーを作ろう

８月８日（木）　信州大学工学部構内にて　参加者　４５人　講師は山口吉久理事

ギラギラの夏空の下、自然エネルギー・温暖化について学び、太陽の熱を使ったソーラークッカーの仕組みを学習。熱中症が心配なほどの暑さの中、夏野菜のカレー作りで太陽熱を体感しました。お昼は工学部の学食をお借りしてカレーを美味しくいただきました。

【参加者振り返りシートより】

・風、水がさいりようできてべんりだと思いました。
・家にソーラーパネルがほしくなりました。
・太陽の光でいろんなことができるんだなと思った。
・ソーラーパネルがたいようのひかりをきゅうしゅうできるのがすごいとおもいました。
・家のカレーより日光で作ったカレーの方がすごくおいしかったです。